

◀無断転載禁止

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
大腸がん (RAS野生型)	Panitumumab 単剤	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	最小度	J Clin Oncol 26: 1626-34, 2008

[illegible]

- ✓ Pmab：0.2または0.22  $\mu$ mのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ 検査：定期的な血中Mg値のモニタリングを（適宜Mg補正を）
- ✓ Pmab：1回投与量として1000mgを超える場合は、90分以上かけて点滴静注すること
- ✓ インフュージョンリアクション（Pmab）：初回から2回目に発現することが多い。悪寒、発熱、呼吸困難など。必要に応じて抗ヒスタミン薬やステロイド剤の投与
- ✓ ざ瘡様皮疹・皮膚乾燥予防（Pmab）：皮膚を清潔に保ち、刺激を避ける。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用

✓ 爪囲炎（Pmab）：遅発性（1か月後～）に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を

---

$\Rightarrow$ 

4

---

\_\_\_\_\_

100

100

100

100

1000

100

1000

1000

114

---

---

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

1000

---

